

西脇市保育士等キャリアアップ研修（保護者支援・子育て支援分野）

受講者感想（2022.11.5） 抜粋

○杉山先生から、実際体験された事例を交えながら、分かり易くお話してくださいました。子ども達の安全で安心できる生活を保障するために、もっと私たちができる事はないかと改めて感じました。

○杉山先生が出会われた多くの子ども達のお話は、聞いていてとてもつらい気持ちになるものでした。子ども達とかかわる私には、何ができるだろうかと思いました。子ども達の行動や求められていることを自覚し、行動できるよう努めていきたいです。

○実父、実母からの虐待が多く衝撃でした。虐待をする親に問題あるのは確かですが、その根底には、育児ストレスがあるのかもしれないかもしれません。私たちは、起こりうるかもしれない虐待を念頭に置きながら、日々子ども達の様子を見守り、保護者への支援も行っていきたいと思いました。

○学生時代、施設実習へ行った時にその施設のお子さんに「お姉さんの子どもはこんな所に入れたらあかんで」と言われたことがあります。その時は衝撃すぎて返す言葉が見つかりませんでした。そんな思いをするお子さんがいなくなるようにしていかなければと、心から思います。

○被虐待児を年齢別にみると、乳幼児期が45%ととても多いのに対し、保育現場からの通告はわずか1.1%。「もしかしたら、保育現場で被虐待児を見逃しているのかもしれない」の言葉に大きな危機感を感じました。子どもの姿をよく把握し、保育現場でも保護者も含め、しっかりと関係性を築きながら対応していきたいと思いました。

○「189」（短縮ダイヤル）の存在を知らなかったのので、周りの方に広めていこうと思いました。保育をしている立場として、子ども達一人一人の様子を確認し、発見、予防、対応をしっかりとできるようにしたいと思いました。

○色々な虐待があるが、心理的虐待が一番多いことに驚きました。また、児童虐待だけでなく、行き過ぎた子育てを含めて「チャイルド・マルトリートメント」という表現を用いることが多いと知り、覚えておきたいと思いました。

○児童虐待について私達児童福祉施設の職員が発見しやすい立場であることを改めて実感しました。子どもや保護者の異変等、担任間で話し合ったり、必要であれば園長や主任に相談したりするようにしていますが、今後も続けていこうと思います。

○「私達のすぐそばに保護者がいる」「いつでも話ができる環境にある」ということを強みとして、虐待がある無しに関係なく、子どもを中心とした色々な話題がもてるよう、これからも引き続き働きかけていかなければと深く思いました。早期発見に努めたいです。

○私たちの見えない、見えにくい子どもの背景にある家庭の中で様々な出来事が起こっている可能性があり、保護者自身も様々な悩みを抱え、そのストレスを子どもに向けていることも考えられます。人間形成の基礎を作る大切な時期、心の支えや支援を大切にしたいです。

○印象に残っていることは、愛情不足は心だけでなく体の成長にも大きく影響があり、大きくなってから対人関係での影響が出てくるということです。虐待を早く見つけ、早く助ける大切さが分かりました。保育現場で働く中で、子どもを守る視点をもってかかわっていきたいです。

○愛情を注がれ、安心できる場であるはずの家庭内での虐待の数々に驚き、具体的な内容に衝撃を受けました。園にも様々な事情を抱えた家庭の子どもがいます。常日頃から気を付けてはいますが、もう一度自園の実態を振り返り、市とも連携を取りながら予防に努めたいです。

○乳幼児は自分から言葉で助けを求めることができないので、虐待を受けている子どもの特徴をしっかりと理解して、子どもからのサインや心身の健康状態の確認を行い、適切な記録をとり、早期発見に努めたいと思いました。

○私は、児童虐待で悲しい思いをする子どもを一人でも減らすために保育士になりました。今回の杉山先生のお話を聞き、改めて目の前の子どもも一人一人を大切に守っていこうと決意する気持ちになりました。毎日保護者の方とやり取りをしながら、子ども達を見守って行ける職業は保育士だけだと思います。使命を感じながら頑張っていきたいと思います。

○虐待されている子は「自分が悪い」と感じている事が多いことが分かりました。対人関係の不安定さや行動コントロールの問題で、保育現場で子どもの様子を見ていて思い浮かぶこともあります。今日の研修を活かして、私達にできることを精一杯していきたいと思いました。

○虐待というと身体的虐待のイメージが強かったですが、日々子ども達とかかわる中で、心理的虐待やネグレクトにも目を向けなければと感じました。また、発達面にも影響があると聞き、心にとめておきたいと思いました。

○虐待の早期発見をするために、保護者との信頼関係をしっかりと築き、相談しやすい人、場作りを目指したいです。そして、組織として対応できるように、一人で判断せず皆で考え共通理解のもと、進めていきたいと思います。